



三方五湖・レインボーラインのCMで観光PR

■お問い合わせ先
町商工観光課(担当・志賀)
☎32-6705



↑レインボーラインの山頂公園で行ったCM撮影の一場面

7 月13日に、レインボーラインの山頂公園で、テレビCMの撮影が行われました。
今回のCM撮影は、来年度の舞鶴若狭自動車道全線開通に向け、三方五湖やレインボーラインの集客力を高めるため、美浜・若狭両町の観光PRとして行ったものです。

曜日	放送時間
平日	6:30、8:00、11:45、13:55、19:00、21:00の中から1日4~5回
土曜日	5:59または10:15または10:20、11:25、12:00、13:30または15:00、17:00または17:30、19:00の中から1日4~6回
日曜日	7:00、7:30、11:30、16:00、17:00、19:00、22:30の中から1日4~6回

※レインボーラインのイメージ7色にちなんで、毎月「7」の付く日、7日、17日、27日に上記時間帯で11月まで放送予定です

撮影には、美浜・若狭両町のゆるキャラやテレビ・ラジオで活躍するFBC福井放送の女性アナウンサー7人等が参加しました。
今回撮影したテレビCMは、次の時間帯で放送される予定です。



彼岸花の球根が植付されました

■お問い合わせ先
町農林水産課(担当・山本)
☎32-6706



↑県道日向・郷市線沿いに植付する久々子区の皆さん

7 月20日と21日に、太田区、久々子区、山上区において、彼岸花の球根が植付されました。
これは、来年度の舞鶴若狭自動車道全線開通と、平成30年の福井しあわせ元気国体開催に向け、地域で農地等の景観形成活動を行っている団体に彼岸花の球根を支給し、植付と育成管理を行ってもらうことで、農村環境の保全や景観形成を図ることを目的に行われたものです。
太田区では、20日に約60人が参加し、ため池付近の法面に17,856個を、久々子



↑ため池付近の法面に植付する太田区の皆さん

区では、21日に約70人が参加し、県道日向郷市線沿いの法面及び、総合体育館付近の法面に43,944個の球根を植付しました。また、山上区では、20日と21日に町道坂尻太田線沿いに5,400個を植付しました。
彼岸花は、毒草であることから、シカやイノシシの被害にも遭いにくく、球根が増えることで、雑草の抑制効果も期待されています。

再生利用等推進リーダー名簿

[敬称略]

行政区	氏名	行政区	氏名
早瀬	橋本 慎一	小三ヶ	安井 清美
笹田	田辺 正	新庄	森久 照雄
日向	志賀 繁男	野口	馬野 昌幸
気山	田辺 秀夫	佐野	四ツ谷 由真
大藪	浅妻 智	上野	原田 克美
金山	大野 豊	興道寺	上登能 健二
久保	内田 濱子	雲谷	森田 晃吉
郷市	山本 和美	小倉	岡崎 節子
松原	川崎 延和	栄	北山 俊巳
久々子	橋本 八十男	坂尻	三谷 佳美
矢筈	青池 亨	山上	堀川 直也
河原市	加藤 亮介	太田	山路 隆
南市	軍場 保幸	佐田	角森 隆夫
和田	武長 仁一郎	北田	中川 伸一
木野	江戸 正幸	菅浜	吉本 栄
佐柿	小畑 陽一	竹波	畑 憲正
麻生	白井 秀男	丹生	山瀬 一男
中寺	成田 一郎	けやき台	井蓋 直臣
宮代	藤長 和哉		

町では、ごみ排出量やその処理に係る費用、ごみの分別や不法投棄への対策等を地域で進めていただくため、各地区の再生利用等推進リーダーを委嘱し、環境の取り組みについて研修会等を開催しています。今年度の推進リーダーの方々は次のとおりです。ゴミの分別等で分からないことがありましたら、町住民環境課または、各地区の推進リーダーにご相談ください。

平成25年度再生利用等推進リーダーが決定しました

※お問い合わせ先

町住民環境課(担当・田村)

☎ 32-6703



↑ 推進リーダーを対象とした研修会

SATOYAMAイニシアティブとは

わが国の里地里山のような人間の営みにより、長い年月にわたって維持されてきた「二次的自然地域」は世界中に見られますが、現在その多くで持続可能な利用形態が失われつつあります。それら世界各地の二次的自然地域において自然資源の持続可能な利用を実現していくための取り組みが「SATOYAMAイニシアティブ」です。

※お問い合わせ先

県安全環境部環境政策課

☎ 0776-20-0362

今年9月、SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合(IPSII-4)が福井県で開催されます。福井県では、IPSII-4を含む1週間を「SATOYAMA国際会議2013 in ふくい」と位置づけ、里地保全に関係するさまざまなイベントを開催します。一般参加可能なイベントもありますので、興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

— イベントスケジュール(一般参加型) —

日時	内容	会場
9月 8日(日) 12時20分~	福井子ども環境教育フォーラム	越前市文化センター(越前市)
9月11日(水) 13時30分~	全国「里の達人」サミット	福井県恐竜博物館(勝山市)
9月13日(金)午後 9月14日(土)午前	IPSI第4回定例会合 ※公開フォーラムのみ	福井県国際交流会館(福井市)
9月14日(土) 14時30分~	県民シンポジウム	福井県国際交流会館(福井市)



SATOYAMA国際会議2013 in ふくい開催

美浜発電所の状況



今回の報告では、7月17日から8月19日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

第180回町原子力環境安全監視委員会を開催

8月2日に、町役場で第180回町原子力環境安全監視委員会を開催しました。

今回の委員会では、町から、去る7月30日に開催された第183回福井県原子力環境安全管理協議会の報告のほか、関西電力(株)に美浜発電所の概況等について、また、(独)日本原子力研究開発機構に高速増殖原型炉もんじゅの概況等についての説明を求めました。

関西電力(株)からは、防潮堤や防護壁・免震事務棟等の安全対策の進捗状況をはじめ、新規制基準への対応、また、去る7月31日に国に最終報告した美浜発電所敷地内破砕帯の追加調査について説明を受けました。

美浜発電所敷地内破砕帯の追加調査については、これまで、発電所敷地内の破砕帯の試料分析や、船舶による丹生湾内の海上音波探査等の結果、発電所敷地内の破砕帯は、後期更新世以降(12〜13万年前以降)に活動性がないこと、また、丹生・白木断層と発電所敷地内破砕帯に地質構造上の関連性はないことを評価したとの説明を受けました。

(主な質疑応答)

問1 他の発電所の破砕帯の審査を見ていると、原子力規制委員会と事業者との間で根本的な考え方が異なり、議論が平行線になっていると思う。

答1 審査では、原子力規制委員会も電力事業者も、お互いの考えを述べ、考えをぶつけ合い、良いものを作り上げていく場だと思っている。お互いが納得する形で白黒をはっきりさせる必要がある。

問2 原子力規制委員会から言われて対応するのではなく、関西電力(株)が自主的に対応するという積極性が大事だと思う。

答2 安全面に対しては、積極的に取り組んでいく。社長も、世界一安全なプラントを目指すと宣言している。皆さんに安心していただけるよう努力していきたい。

その後、(独)日本原子力研究開発機構からは、もんじゅの保守管理上の不備をはじめ、文部科学省内に設置されている「もんじゅ研究計画作業部会」の審議状況、また、もんじゅの敷地内の破砕帯追加調査等について説明を受けました。

(主な質疑応答)

問1もんじゅの必要性は理解するが、今回のもんじゅの保守管理上の

不備は、地元の信頼を失墜させたと見える。これは、原子力機構全体の体質の問題だと思う。自分たちが変わるという意気込みを伺いたい。

答1 我々も、皆様の信頼を失っているというご指摘に対しては、重く受け止めている。これから、いかに改善するか、また、職員一人ひとりが、それぞれの持ち場をしっかりと担うことはもちろん、電力事業者のノウハウを積極的に取り入れ、自分のプラントとして、しっかりと管理していきたい。

委員会での審議終了後は、美浜発電所の安全対策の実施状況を確認するため、発電所を訪問し、説明を受けた防潮堤等の現場を視察しました。本委員会では、今後も美浜発電所の安全対策等を適宜確認していきます。



↑工事が進む防潮堤(あご越え)を視察する委員

美浜1号機

第25回定期検査中

(平成22年11月24日)

美浜2号機

第27回定期検査中

(平成23年12月18日)

美浜3号機

第25回定期検査中

(平成23年5月14日)